

令和元年10月1日

朝礼の話（ちょっといい話）

先日、ラグビーワールドカップで、日本が世界2位のアイルランドに逆転勝ちをするという大金星をあげたニュースは、みんなも聞いていることと思います。団体のスポーツは、1人1人の力は少しでもみんなの思いと力が集まれば、大きな力になると思います。

さて、今日は、みんなに感謝したいこととお話しします。

先日、吹奏楽の定期演奏会で車椅子のお客さんの介助を手伝ってくれた人がいました。学校へ電話がかかってきて知ったのですが、人の困り感を察知して自然にお手伝いができるというのは大変素晴らしい行いだと思います。

また、先週、こども園の園長先生にお会いしたとき、ボランティアの人たちがプランタの土かえに来てくれて助かったという話をしてくれました。

さらには、部活動の大会の応援にいた生徒が、先生の顔を見て、「どうぞ」と飲み物を差し入れしてくれました。

このどれもが、人に頼まれたり、強制されたのではなく、みんなの意思で行われているということは、とても素晴らしいことだと思います。

そしてこの行いを見た周りの先生や地域の人たちが、「伊里中学校の生徒はすごいですね」といってくれています。

学校生活は、団体戦です。一人一人のこういった行いが、伊里中学校みんなの行いだと評価されます。

これから、たくさんの皆さんが、こういった行いを実践してくれることを期待しています。

論語の中に「我、仁を欲すれば、ここに仁至る」というのがあります。

これは、「自分たちが思いやりの心を求めるならば、すぐに実践できる。普通の人に実践できない難しいことではなく実践しようと思えば誰でもできることです。そして、それは、自分に返ってきますよ。」という意味だと思います。

2学期にはいろいろな行事がありますが、ぜひ、伊里中の思いやりの心を、団体戦で実践し、広げていってもらいたいと思います。